

2026年新潟大学大学院進学説明会（5/19（火）、大学院総合学術研究科修士課程
人文社会科学専攻）で出た質問への回答

2026年5月27日
新潟大学総合学術研究科人文社会科学専攻

オンラインでの参加されたみなさんから Zoom チャットで出された質問については時間内にお答えすることができませんでした。以下、回答します（なお、個人情報等への考慮から、一部改変した箇所がありますのでご了承ください）。

質問1：①××在住で、仕事を続けながら、日本酒学プログラムへの進学を考えているのですが、社会人院生はどのように研究や授業を進めていますか？（対面授業、オンラインの割合、通学頻度、1週間のスケジュール、研究時間をどのように確保しているか など）
②日本酒のペアリングに関心があるのですが、こういったテーマで研究されている方はいますか？

→回答：①について。社会人の院生に対する措置としては、「長期履修制度」や「社会人学生のための教育方法の特例措置(14条特例)」があります。募集要項に説明がありますので、ご覧ください。実際の研究生活については、履修する授業、研究テーマ、指導教員の指導方針、勤務状況などによってかなり異なります。社会人院生の場合、仕事を続けながら、平日夜間や週末を活用して文献調査・データ収集・論文執筆を進める方もいますし、指導教員と相談しながら、研究指導やゼミ参加の方法・頻度を調整しているケースもあります。対面授業・オンライン授業の割合や通学頻度についても、年度や履修科目によって異なりますので、より具体的な研究生活のイメージを知りたい場合には、指導予定教員に直接ご相談いただくのがよいと思います。

②について。日本酒のペアリングをテーマにした研究を行っている学生はおります。ペアリングについては、消費者の嗜好、食文化、飲食店での提供方法、マーケティング、地域資源との結びつきといった人文社会科学的な観点から研究することもできますし、香味成分、味覚、食品との相互作用など、理化学的・自然科学的な観点から研究することも可能です。日本酒学プログラムは文理融合的な特徴をもっておりますので、ペアリングというテーマについても、研究関心に応じて、人文社会科学系・自然科学系の双方からアプローチすることができます。具体的にどのような研究として発展させられるかについては、関心のあるペアリングの対象や問題意識を整理したうえで、指導予定教員にご相談いただくのがよいと思います。

質問2：〇〇先生が大学院で新たに開講される可能性について

→回答：これについては残念ながら現時点ではお答えできません。関連分野の先生におたずねください。

質問3：社会人です。面接の英語に不安があります。どのような内容、どの程度の実力が求められますか。

→回答：これも残念ながらお答えできません。研究上必要な英語力については指導予定教員におたずねください。

質問4：英語の成績が不安なのですが、公的語学検定試験の成績は選考にどれほど影響するのでしょうか。

→回答：募集要項にあるように、一般枠試験において、公的語学検定試験のスコアは書類選考の一環として評価されます。それ以上はお答えできません。研究上必要な英語力については指導予定教員におたずねください。

質問5：説明中 TOEIC、TOEFL の提出が必要とありましたが、募集要項（10 ページ）には「学業成績優秀者特別試験枠」による受験者はスコアの提出が不要とありました。「学業成績優秀者特別試験枠」のみの受験を希望する場合は、提出不要という認識で合っていますでしょうか。

→回答：今年の募集要項の8頁（pdfの頁数では10頁）に、「① 第1期募集・一般選抜「学業成績優秀者特別枠試験」による合格者は、スコア等の提出は不要です。ただし、「学業成績優秀者特別枠試験」受験希望者のうち受験が不許可となった者および合格内定とならなかった者は、上記の【第1期募集】提出期限までにスコア等を提出しない場合は、第1期募集・一般選抜「一般枠試験」を受験しても失格となります」とあるとおりです。

質問6：入試での出題分野の選択は、修士での研究にどのように影響するのか伺いたいです。（臨床心理学分野を除く）

→回答：入試の出願に際しては、指導予定教員や関連教員に事前に連絡をとり、受験や入学後の教育研究内容等について十分相談していただく必要があります。出題分野の選択についても事前にご確認ください。

質問7：大学院に進学されている学生さんたちはどんなことを研究しているのか知りたいです。

→回答：総合学術研究科のウェブサイトには各研究室の紹介動画があります。順次追加されていく予定ですので、ご利用ください。また、学生の研究成果は、紀要『現代社会文化研究』をはじめとする様々なジャーナルに発表されており、その多くは新潟大学学術リポジトリ (<https://niigata-u.repo.nii.ac.jp>) から無料の pdf で見ることができます。